

## 2 一般会計・特別会計実質収支

区 分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引額 C (A-B)	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額 E (C-D)	うち地方 自治法第 233条の2 の規定に よる基金 繰入額
				継続費 通次 繰越額	繰越 明許費 繰越額	事故 繰越し 繰越額	計 D		
一般会計	715,316,660	712,891,722	2,424,938	-	2,232,891	-	2,232,891	192,047	96,024
特 別 会 計	競輪事業	18,506,602	18,479,215	27,387	-	-	-	27,387	-
	卸売市場事業	1,626,055	1,623,275	2,780	-	2,780	-	0	-
	国民健康保険事業	126,570,140	125,860,668	709,472	-	-	-	709,472	-
	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業	349,989	298,918	51,071	-	-	-	51,071	-
	後期高齢者 医療事業	15,670,336	14,915,789	754,547	-	-	-	754,547	-
	公害健康被害 補償事業	218,069	67,807	150,262	-	-	-	150,262	-
	介護保険事業	90,151,216	89,434,587	716,629	-	-	-	716,629	-
	港湾整備事業	15,628,895	13,631,713	1,997,182	-	198,245	-	1,798,937	-
	勤労者福祉 共済事業	120,694	120,694	0	-	-	-	0	-
	墓地整備事業	782,931	416,820	366,111	-	79,356	-	286,755	-
	生田緑地 ゴルフ場事業	586,619	456,156	130,463	-	12,589	-	117,874	-
	公共用地先行 取得等事業	478,588	478,588	0	-	-	-	0	-
	公債管理	215,298,000	215,298,000	0	-	-	-	0	-

実質収支 形式収支（歳入歳出差引額）から翌年度繰越事業費等に充当されるべき財源を差し引いた実際の当年度の収支を明らかにするものである。